

当センターの職業訓練を受講後、真田電気設備株式会社様に正社員として就職され、電気工事の見積り・積算を担当されている中野 智明様（住宅リフォーム技術科 平成 30 年 5 月生）に、現在のお仕事等についてお話を伺いました。

さらに、総務部 課長 長嶋 洋様に、中野様の採用や仕事ぶりについてお話を伺いました。

* * * * *

CADスキル習得と建築CAD検定2級合格。誰かが一緒に勉強してくれることが励みになり、最後まであきらめずに頑張ることができた。

住宅リフォーム技術科を受講された中野様に、現在のお仕事や就職の経緯などについてお話を伺いました。

◇現在のお仕事は？

- 主に、電気工事の見積り、積算を担当しています。建築図面や電気図面に、CADを使ってコンセントなどが配線されて、その図面をもとに積算をしています。

◇前職は？

- 帽子の製造会社に勤務していました。イラストレーターを使用して、刺繍のデザイン・修正等をしていました。

◇就職されて、いかがですか？

- 就職して1年になります。建設業は私にとって未知の世界で、入社した当時は初歩的なこともわからなかったし、今もわからないことばかりで、上長にいろいろ質問しながら仕事をしています。未知の世界ですが、職業訓練で建築の図面を見ていたから、全く何もわからないよりはよかったですと思います。使用するソフトは違いますが、Jw-cad やイラストレーターを使った経験があることや、レイヤー（画層）の概念がわかるだけでもプラスになっています。お客様からいただいた仕事なので、ミスがないよう上長に確認しながら、緊張感を持って仕事をしている状況です。

◇職業訓練を受講しようと思われたのは？

- 前職の経験を活かせるので、イラストレーターやフォトショップを使用する仕事を探していました。就職活動をするなかで、“もっと専門的なスキルが必要だ、これか

ら長く働くために技術を増やしたい”という気持ちになり、CAD をやってみたいと思いました。CAD スキルが習得できる住宅リフォーム技術科が募集中だったので、応募しました。

◇受講の目標は？

- CAD スキルを習得することです。それと、同じクラスのみなさんからこれまでの経験などいろいろな話を聞いて、刺激をもらえればいいなと思っていました。

◇受講前、ポリテクセンターの印象は？

- 私はポリテクセンターの存在を知りませんでした。存在を知って、“こういう学校があるんだな、社会人になってもまだ学校に行けるんだ、学べるんだ”とわくわくしました。技術を習得するために訓練を受けられるところがあるのは、意外でした。

◇受講していかがでしたか？

- 専門的なことをゼロから学べ、質問すれば先生が丁寧に答えてくださいました。一人で就活したり、勉強したりするより、働いているときと環境が似ているので、受講中も働いているときと同じような意識を持っていられたし、生活のリズムも保つことができました。

職業訓練は、住宅の構造、建築法規、どういう流れで住宅を建てるのかを学び、実技で実際にやってみると難しかったです。あきらめずにやろうと思いました。受講していなかったらまず触らないだろうと思うような工具に触れる機会があって、おもしろかったです。

建屋を建てることはわかっていましたが、素人の自分たちだけで建てられるのだろうかと不安でした。夏の暑い時に、同じグループのメンバーと、ああしよう、こうしようかと相談しながら作業を進めるなかで、グループとして意見がまとまっていき、だんだん建屋ができていくのが楽しみでした。そういう過程が面白かったし、楽しかったです。でも、その一方で、みんなでする作業だから、自分が材木の長さを間違えると、他の人の作業に影響するというプレッシャーもありました。最後は建てた建屋の解体をしました。みんなで「壊すのは一瞬だね。」と、残念な気持ちで話したことを覚えています。

先生が職業訓練を指導するプロで、教え方もわかりやすかったです。先生はそれぞれ教えるスタイルが異なりますが、すべての先生の教えが自分のプラスになりました。

◇職業訓練で習得したスキルで、今のお仕事で役立っていることは？

- CAD スキルです。それと、建築 CAD 検定 2 級に合格したことです。検定はギリギリ合格かなと思っていたので、合格通知が来たときはとてもうれしかったです。訓練終了後に残って CAD の勉強をしているときに、クラスの人と声を掛け合ったり、わからないところを教え合ったり、「疲れたから帰ろうか」と気遣ってもらったり、誰かが一緒に勉強してくれることが励みになり、最後まであきらめずに頑張ること

ができました。

今、電気工事の見積り・積算をしているので、職業訓練で「建築物価」(※)を使って積算した経験が役に立っています。

※「建築物価」とは、建築物価調査会が発刊している月刊誌で、建設工事で使用する各種資機材の価格や工事費等が掲載されている専門雑誌です。

◇就職活動や当センターの就職支援は、いかがでしたか？

- 一 履歴書や職務経歴書を作成するとき、自分ひとりだと適切な言葉が出てこなかったと思います。履歴書に書く言葉を整えたりしてもらったこと、書き方やこまかいところを確認してもらったこと、書類の作成例があってよかったです。自分のいいところがわからなくて、相談してアドバイスしてもらって助かりました。自分で描いた図面やイラストレーターの作品をファイリングして面接に持って行き、面接練習もしてもらったので、面接官に伝えたいことを伝えられたかなと思いました。

◇就職決定の決め手は？

- 一 CAD を使った図面作成の仕事を希望していました。指名求人(※)をもらったけれど、電気工事の図面は知識も経験もないので、それでもいいのかな？と思って、ポリテクセンターの職員の方に問い合わせてもらったら、構わないと言ってくれました。図面の仕事に就けること、声を掛けていただいたことが決め手です。

会長、社長、長嶋課長(人事担当)の3名で面接がありました。面接官が3名というのは初めてだったので、どんな質問が飛んでくるかと、ときどきしながら受け答えをしていました。

※「指名求人」とは、希望職種など訓練受講者(求職者)の情報を事業所に提供し、受講者を指定してご提供いただく求人です。

◇今後の目標は？

- 一 まだまだわからないことがいっぱいですが、少しずつ慣れていって、第二種電気工事士の資格を取得することです。自分でテキストを買って、過去問をひたすら解きました。技能試験が12月にあり、受験に備えて先日津山に講習を受けに行かせていただきました。講習を受けて、初挑戦で技能試験の合格は難しいなという感じがしました。来年7月の合格をめざして、今後も自己啓発に取り組みます。

◇就職活動中の方や職業訓練を受講されている方にメッセージをお願いします。

- 一 どうしようかと悩んでいるんだったら、思い切ってやってみたらいいと思います。一人で考えると、行き詰っていっぱいになるし、“こういうことが好きだ”というのがあれば、挑戦してみてもいいかなと思います。ポリテクセンターは、学校で授業を受けているスタイルでしたが、教室で学ぶのが

懐かしい感じがしました。新しい知識が増えるし、クラスの人と話してつながりができます。職業訓練を受講しようかどうしようかと迷っているなら、ポリテクセンターの見学だけでもしてはいかがでしょうか。

私は、就職に関してもポリテクセンターで相談ができました。履歴書の作成も、「履歴書の書き方」のような説明を見ただけではわからないところがあります。ポリテクセンターでは書類作成の相談もできるし、面接の練習をしてアドバイスももらえて、ありがたかったです。

一人で就職活動をしていると、どうしても自宅にこもりがちになります。私は、外に出ることに意識を向ける一環として職業訓練を受講しました。受講すると、毎日決まった時刻に家を出て、決まった時間集中して行動して、そして帰宅するという生活のリズムが維持できます。家で一人で頑張っているだけでは限界があります。一歩家を出て行動すると、外の世界とつながっている感じがします。

* * * * *

面接に持参された図面を見て、学んだ分野と異なるけれど、頑張っていたらいいと思った。

履歴書に記載している言葉に、その言葉どおりの意思が紐づいているかどうか、質問に答える表情や様子から直感でわかる。

総務部 課長 長嶋 洋様に、中野様の仕事ぶりや採用の決め手、今後の採用についてお話を伺いました。

◇事業内容は？

- － オフィスビル、工場、病院、福祉施設の屋内・屋外電気配線工事、太陽光発電設備、電気保安全管理業務、不動産事業です。

◇採用の決め手は？

- － 一見してまじめそうだったことです。弊社には当時 CAD 担当が1名しかいなくて、施工管理の担当が、現場から帰社後に図面作成をせざるを得ず、施工管理者の業務負担を減らしたいと考えていました。弊社の展望として、CAD 担当を増やしたかったということがあり、「公開求職者情報」(※)を見て中野さんを指名しま

した。中野さんが面接に持参された図面を見て、電気工事の知識はないけれど、弊社の仕事ができそうだ、職業訓練で学んだ分野とは異なるけれど、弊社で頑張っていたきたいと思いました。

※「公開求職者情報」は、希望職種など訓練受講者（求職者）の情報を冊子にし、ご登録いただいている事業所に定期的に提供しています。

◇仕事ぶりは？

- 一 私は人事担当なので、中野さんの仕事ぶりを直接見ている訳ではありませんが、上長から「停滞している」という話は聞いていないので、頑張っていると思います。第二種電気工事士資格取得にも挑戦し、仕事に対して意欲があると思っています。弊社は電気工事業を営んでおります。資格を持っていない社員には第二種電気工事士を取得して欲しいし、それは会社のステイタスにもなると考えています。

◇御社が求めている人材？

- 一 はい。中野さんは、弊社がこれから発展する基盤として採用しました。わからないことは放置せず、上長にきちんと確認してクリアにしているし、資格取得にも挑戦しており、仕事に対する姿勢は前向きだと思います。女性ならではの気配り・気遣い、きめ細かさがあるって、電話対応でも相手方の印象が変わったように感じています。弊社は、女性は事務職のみ採用していました。取引先から「女性も活躍できる会社」というお声もいただき、弊社が女性を採用することで、他社にも女性がこの業界で働くというイメージができたのではないかと思います。

◇期待されていることは？

- 一 取引先は県南が多いのですが、いずれは、工事担当と一緒に現場に行って、図面作成して欲しいと考えています。電話でお客様の話を聞きながら、図面をイメージできて、図面作成ができるようになって欲しいです。

◇職業訓練を受講されて、仕事に役立っている点は？

- 一 弊社の電気工事は、工場・マンションがほとんどで、一般住宅の電気工事はしていません。配電盤などもあり、受講したコース（住宅リフォーム技術科）では見たことがないと思います。CADソフトは、CAPE、Jw-cad、Tfasを使用しています。中野さんは、ポリテクセンターでJw-cadを使用されていたので、学ばれた住宅図面とは専門性が異なりますが、少しでも知識や経験があるのとないのとでは、弊社の仕事を覚える点で違うと思います。

◇当センターに期待することやご要望は？

- 一 電気工事士に応募された方から電気・通信施工技術科のカリキュラムを聞きましたが、空調関係の時間を倍くらい（現行3日間を5日間くらい）に増やして欲しいで

す。

住宅リフォーム技術科のカリキュラムはパンフレットで拝見しました。図面、建て方、解体と一連の内容が揃っていて、特に解体までするのがよいと思います。

在職者向けのコースでは、第二種電気工事士相当のスキル、可能ならば施工管理技士相当のスキルを習得できる講習を希望します。

◇当センターの修了生以外で、未経験で入社された方は？

- － おります。前職は、ガソリンスタンド店員、調理師、工場勤務でした。

◇採用にあたり、重視されていることは？

- － 履歴書・職務経歴書では、こういった職務経歴があり、どういう仕事をしていたかをまず見えています。次に資格です。電気工事担当の場合は、工事現場に入るので、第二種電気工事士の資格は必須です。資格がないと、雑作業しかできません。雑作業だとご本人もおもしろくないと思いますし、弊社としてもやりがいのある仕事をさせてあげたいと考えています。第一種電気工事士は実務経験が5年必要なので、入社時は「あれば尚良し」としています。施工管理担当の場合は、電気工事現場経験者とし、施工管理だけでなく軽作業もすることを面接で説明しています。

下請けで現場に入ることが多く、弊社の社員が現場で倒れてしまうと元請会社に迷惑を掛けます。だから、面接では仕事内容を説明し、できるかどうかを確認します。また、質問に対して、回答の内容より、どういう風に答えられるか、答え方を注視しています。長年採用を担当していると、履歴書に記載している言葉に、その言葉どおりの意思が紐づいているかどうか、質問に答える表情や様子から直感でわかります。

◇ものづくり分野への就職を希望・検討している方にメッセージをお願いします。

- － 弊社の仕事は、手作業、屋内・屋外作業、太陽光設備など、作業内容はいろいろあります。現場の作業をしたいという方は、ポリテクセンター、ハローワークに関わらず、どんどん応募して欲しいです。

真田電気設備株式会社

所在地：岡山市北区富田町 1-4-1

創業：昭和 57 年

設立：昭和 59 年

資本金：5,000 万円

従業員数：33 名（うち女性 4 名）

事業内容：オフィスビル・工場・マンションの電気工事、太陽光発電、不動産事業

=就職相談担当から=

「どきどきする」「緊張する」と話される中野様を拝見し、初めて就職相談に来られたときのことを思い出しました。視線はご自身の手元と私の顔を細かに往復させつつ、言葉を選びながら発言されて、こちらが“採用面接だったっけ？”と一瞬勘違いするくらい緊張されていました。

指名求人でお声を掛けていただいたとはいえ、知識も経験もない分野への応募は、中野様にとってハードルが高く、応募を決断されたときは清水の舞台から飛び降りるくらいのお気持ちだったのではないのでしょうか。中野様は非常にまじめで、応募書類の作成、面接時に持参する図面等の整理、面接準備とCAD検定の時期がちょうど重なってしんどそうでしたが、どちらも手を抜かず、「採用」「合格」を目指して強い意志を持って取り組まれていました。

一番印象に残っているのは、書類選考の結果報告をいただいたとき、中野様の頬が少し紅潮し、声が弾んでいたことです。「女性の社員の方が、『社屋を建て替えていて、事務所の場所がわかりにくいから、岡山駅まで迎えに行きます。』と優しくおっしゃってくださったんです。」と、そのご配慮にすごく感激したご様子で、とてもうれしそうにお話しされていました。

(取材後記)

- ◎長嶋課長、中野様、ご多忙のところ取材にご協力いただき、ありがとうございました。
足を踏み入れるのも臆するくらい真新しい社屋でお話を伺い、社員のみなさまが快適にやりがいを持ってお仕事をされているお姿が自ずと目に浮かびました。
- ◎長嶋課長がおっしゃった「弊社の展望」と中野様の希望がタイミングよくマッチングしたということに、不思議なご縁を感じざるを得ませんでした。上記の面接時のエピソードを長嶋課長にお伝えしたところ、「いやいや、そんな大げさなことではありません。事務所がいくつか分散していて、住所で検索してもわかりませんし、道に迷われるだろうと思ってしたことですよ。」とさらりとおっしゃったのを伺い、中野様にとっていいご縁だったんだなと改めて感じました。
- ◎新たなスキルを身に付けること、学んだ分野と異なる分野で働くこと、全く知識もない電気工事士の資格を取得すること、常にチャレンジする中野様がたくましく見え、そして頼もしく思いました。

<2019年11月>